

平成30年度美唄市議会報告会における「議会に対する意見・要望」【市政】

① 財政関係

No.	意見・要望	回答	担当課
1	人件費削減のために広報紙の作成をBMCに委託したとのことであるが、削減額はどの程度となったのか。	広報紙の作成につきましては、平成29年度から完全委託しており、年間約600万円の人件費削減となっております。	秘書広報課
2	歳入と歳出について。実質的な単年度収支は赤字である。将来負担比率が問題であるから、本当に将来、大丈夫なのか。	<p>単年度収支とは、当該年度の決算による実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額のことです。単年度収支において黒字が累積するようであれば、黒字を取り崩して、すなわち単年度収支を赤字にして租税等を引き下げる、または行政サービス予算を上積みするなど、市民に還元すべきものです。つまり、単年度収支が赤字だからといって、財政運営に直接支障をきたすものではありません。</p> <p>また、将来負担比率とは、一般会計などが将来負担すると見込まれる実質的な負債の程度を指標化したものですが、この比率が350%を超えると財政健全化を求められる地方公共団体の扱いとなります。</p> <p>美唄市は、健全化計画策定前にこの数値が300%近くとなっておりますが、健全化計画を進め、29年度決算では、144.5%まで改善されております。</p> <p>今後10年間の財政推計におきまして、病院の建築、学校の大規模改修、国営の土地改良事業の償還等も含め29の普通建設事業を見込んだ結果、将来負担比率についても174.5%まで上がる見込みとなっておりますが、単年度黒字決算に努めるとともに、事業見直し、組織改革、人員削減など様々な対策を講じ、比率上昇の抑制と改善に努めることで、今後も健全な財政運営を図ってまいります。</p>	財政課

3	<p>病院建設について、市民が判断する具体的な材料が無いから出して欲しい。 50億の資金を確保できるのか。 今後、学校、市民会館、農政の基盤整備等もある、それらの見通しを10年程度考えた上で、市の将来計画を議論されているのか。 その根拠をぜひ教えて欲しい。</p>	<p>病院等の建設費約50億円の財源対応につきましては、これまでの説明会等で説明をしまいましたが、立地適正化計画作成による国からの交付金を活用するとともに、一部を一般財源で見込むほかは起債（借金）の借入で対応することとなっております。行政が大きな事業を実施する場合には、事前に国や道との協議を行いながら進めることとしており、交付金をはじめ起債の借入に関して、国や道との事前協議が円滑に進められているところであります。</p> <p>提出させていただいた一般会計の10年間の推計には、今後10年間に実施予定されている29の普通建設事業に対する費用が組み込まれております。病院の建築、学校の大規模改修、国営の土地改良事業の償還等も含めて推計しており、推計上は収支均衡を図るために財政調整基金を使用している年度がございますが、財政運営を進める上では、中期財政運営基本方針の考え方に基づき様々な対策を取っていくことで、財政調整基金を使用しない中で、黒字決算となるよう財政運営に努めてまいります。</p> <p>また、平成31～32年度にかけて新たな市の総合計画策定が予定されているため、更なる見直しを図ってまいります。</p>	<p>財政課 医療等拠点 づくり推進 室</p>
---	--	---	--------------------------------------

② 病院・医療関係

No.	意見・要望	回答	担当課
4	病院は黒字になるといっていたが、30年も黒字になるとは思えない、黒字になるという根拠を示して欲しい。	30年間の収支推計にあたりましては、今後の人口減少も見据え積算しているとともに、回復期病床の新設や療養病床の見直しを行うなど、人口減となっても医療ニーズを踏まえ、黒字の推計を見込んでおります。	病院事務局
5	看護寄宿舍を病院建設の結論が完全に出ていないのになぜ解体するのか。 地方自治法に違反していないのか。 50億円もかけて病院を建てなくても良いのではないかと、救急がなければ砂川や岩見沢が受け付けないわけではないだろうから、命に係わる救急は美唄でやるべきでなく、まっすぐに、砂川や岩見沢に行くようなシステムにすべきと思うがどのように考えているのか。	旧看護師宿舎につきましては、昨シーズンの雪で軒が折れ、強風で屋根が吹き飛ばす可能性が高いことなど、早期の対応が必要だったことから、解体を行ったところでは、 救急医療につきましては、現在の救急車による搬送の基本的なルールとして、軽症患者は市立美唄病院で受け入れ、もし他の病院で診る必要があると判断した場合は、医者同士で連絡を取り合ってから搬送することになっております。 なお、脳卒中や心筋梗塞など一刻を争う場合につきましては、救急隊の判断により、市外の病院と連絡を取り、直接搬送しております。 最近では、近隣病院においても医師が過重労働により疲弊している状況にあり、年間3千件近くの救急患者を全て近隣の病院に依頼することは、現実問題として非常に困難な状況となっております。 このため、救急医療は市立美唄病院で続けていかなければならないものと考えており、引き続き市医師会等の協力をいただくとともに、市外の病院と連携を図りながら救急医療の確保に努めてまいりたいと考えております。	医療等拠点づくり推進室
6	50億円の病院に対する国の支援措置がそんなにされるのか。 救急についての現状を考えると、岩見沢等に運ぶ方が市民サービス向上になるのではないかと、どう考えているのか。 また、市民説明会も延べで350人程度となっているが、それで、ほぼ理解を得られた、と言っているが、無理はないか。	建設費の財源につきましては、No.3の回答をご覧ください。 救急医療につきましては、No.5の回答をご覧ください。 自治組織代表者会議、まちづくり地区懇談会のほか、市民や団体等への説明会を開催し、市内各地、各界、各年齢層の多くの市民の方々への説明と意見を伺う機会を何度も設けており、説明内容については一定の理解を得られたものと受け止めているところであります。	医療等拠点づくり推進室
7	現在病院で働いている人たちの雇用についてはどうなるのか。	診療科につきましては現体制を継続することとし、医療スタッフについても継続雇用を考えており、効率的な配置を検討してまいります。	病院事務局

8	医師確保に努めるとともに、他の病院との連携をしっかりと深めてもらいたい。	医師の確保は最重要課題であることから、しっかりと求人活動に取り組んでまいります。 また、地域包括ケアの実現に向けては、医療機関との連携はもとより、市内多職種との連携が大切になると考えておりますので、入退院支援などの機会を通じ、連携を深めていきたいと考えております。	病院事務局
9	規模を縮小して一部診療科目に特化した病院にしたほうが良いのではないかと。	診療科目の考え方といたしましては、内科、小児科、外科、整形外科を基本診療とし、透析患者や糖尿病患者で眼科の治療が必要な患者が、小児科の患者で耳鼻咽喉科での治療が必要な患者がいることから、それぞれ継続し、産婦人科は出産や育児支援のためにも継続するなど、現体制を維持してまいります。	医療等拠点づくり推進室
10	病院建替え後の経営についてもしっかりと考えて計画して進めてもらいたい。	今後の人口減少も見据えながら、変化する医療制度や医療環境に適切に対応できるよう30年間の収支推計を作成しておりますが、黒字経営が継続できるよう、健全な経営に努めてまいります。	医療等拠点づくり推進室 病院事務局
11	岩見沢・砂川に大きな病院があり、他地域の病院に行っている市民もいるので、新病院ができて来てもらうような取組をするなど、何か売りとなる特徴を考えなければならないと思うが、何か考えているのか。	医師や看護師等が、在宅医療への取り組みなどで積極的に院外に出ていくことにより、安心して在宅で受療できるよう努めてまいります。また、総合診療医の確保に努めるほか、回復期病床の設置でスムーズな在宅復帰につなげていくとともに、医療スタッフのスキルアップに努め、市民の皆さんに信頼される病院づくりを進めてまいります。	病院事務局
12	美唄には市立病院が必要であるので、手術や処置ができるよう医師やスタッフも確保するべきで、有名な医師にも来ていただけるようにしてほしい。	医師や医療スタッフの確保に向けては、あらゆる機会を通じて取り組んでまいります。	病院事務局

③ 危機管理関係

No.	意見・要望	回答	担当課
13	<p>災害時の広報車について、音量が小さく、また、移動速度が速かったため情報が聞き取れなかった。 市内には聴覚障がい者の方もいることから、必要な情報が素早くしっかりと伝わるよう、警察や消防などと連携をとるなどの方策を考えていただきたい。</p>	<p>今年9月に発生した北海道胆振東部地震により、市内全域が停電になったことから、停電や小中学校の休校、避難所開設等について広報車6台で市内を巡回してお知らせいたしました。広報車につきましては、情報が聞き取れなかったというご意見を多くの方からいただいておりますので、今後は、スピーカーの音量を上げたり、移動速度をゆっくり、または停車することにより、聞き取りやすいように改善してまいります。 また、聴覚障がい者などにも情報が伝達できるように、ホームページへの掲載、市役所や避難所に掲示板を設置、関係機関との連携などにより、必要な情報を伝えていきたいと考えております。</p>	危機管理対策室
14	<p>寒冷期に災害が発生した場合、個人宅も含めてストーブなどを貸し出してもらえるのか。 また、各地域の会館に発電機を配置することは考えていないのか。</p>	<p>市役所ではポータブルストーブを備蓄しておりますが、数に限りがあり、避難所において使用することから、個人宅への貸し出しは困難であります。寒冷期への備えとして、ご自宅でポータブルストーブを備蓄していただきますようお願いいたします。 なお、会館等に避難所を開設する際には、避難所担当職員が発電機等を運搬して配備いたします。</p>	危機管理対策室
15	<p>今回の停電で、地域によってどのような違いがあり、経済的な損害について把握しているのか。 また、今後のためにも、配電の経路について把握しておくべきだと思うがどのように考えているのか。</p>	<p>停電につきまして、事業所等へのヒアリングを実施しましたが、損害額につきましては把握しておりません。 配電の経路につきましては「変電所から高圧線を経由するルートは決まっているが、需要バランスによって細かな経路が変更することから、公開することは難しい」との回答を北電からいただいております。</p>	危機管理対策室
16	<p>峰延地区最大の避難場所である峰延中学校が廃校になると、避難場所が峰延福祉会館だけとなる、寒冷期など避難者が多い場合は会館だけでは手狭だと思うが、どのように考えているのか。</p>	<p>避難者が避難所の収容人員を超える場合は、他の避難所に避難していただくこととなります。移動手段については自家用車の他、貸切バスを想定しております。</p>	危機管理対策室
17	<p>ブラックアウトについてダムの維持、管理に影響はなかったのか。</p>	<p>美唄ダムの維持及び管理は、北海道が行っておりますが、美唄ダムにはダムの水を取水する施設（取水塔）を設置しており、浄水場まで水道管により送っております。 取水塔から浄水場までは、高低差を利用した自然流下により取水しておりますので、停電による影響を受けるものではありません。</p>	上下水道課

④ 都市整備関係

No.	意見・要望	回答	担当課
18	<p>水道は自家発電しているから、地震が来ても、止まる事はないと聞いた。どの位の期間もつのか。</p>	<p>地震により水道水を供給している水道管が破損した場合は、供給が出来ず止まることはあります。今回の地震では水道管の破損が無く、停電の対処として浄水場に設置している発電機を起動させ、浄水場の水処理が通常運転できたことにより、断水とはなりませんでした。</p> <p>この自家発電機の運転には軽油を使用しておりますが、燃料のタンク容量が95リットル、このほかに54リットルを常時備蓄して18時間まで運転することができます。</p> <p>なお、自家発電機の故障が発生しない間は、燃料の補充により継続運転をすることが可能です。</p>	<p>上下水道課</p>
19	<p>単身の高齢者に対する柔軟な対応として、公営住宅の募集にあたっては、抽選ではなく申し込み順としてはどうか。</p>	<p>市営住宅の入居につきましては、市民の皆様が公平に入居の機会を得られるよう、災害等の緊急的な入居を除き、原則として公募（抽選）により入居者を決定することとしており、年4回（6月、8月、10月、2月）の定期募集をしております。ただし、定期募集で入居者が決定しなかった住宅については、常時、随時募集として、窓口で先着順により申し込みを受け付けております。</p>	<p>都市建築住宅課</p>
20	<p>落合の沢の崖に生えている樹木が生い茂り、家に日光が入らない。 落合川の流木や東明橋付近の路肩の樹木が街路灯に被さっているが、その対策をしてほしい。 また、美唄川の護岸の石も崩れているので確認して対応していただきたい。</p>	<p>落合の沢の樹木につきましては、道路の交通上支障がないため市では対応できませんので、土地所有者と協議をしていただきたいと思います。</p> <p>街路灯に被さっている樹木の処理は、本年度北海道の了承を得て5月上旬に本市で伐採作業しておりますので、現在は樹木の枝が被さっておりません。また同様の事態になりましたら連絡していただきますようお願いいたします。</p> <p>美唄川(落合川)の護岸につきましては、北海道所管の河川であり、整備計画があると伺っております。</p>	<p>都市整備課</p>
21	<p>個人や団体に除排雪の委託をしているが、雪を積み上げたまま終わる業者がいる。最終的には市がその後始末（排雪等）をしている現状であるので、市としてそれら業者をチェックし、きっちり正すべきと思うがどのように考えているのか。</p>	<p>市や受託業者のパトロールで発見した際には指導するよう努めておりますが、土地の所有者が市の受託業者以外に個人にも使用を了承している場合もございますので、その際には排雪の協力を求めるなど検討してまいります。</p>	<p>都市整備課</p>
22	<p>街灯のLED化予算の捻出ができない町内会への対応をしてもらいたい。</p>	<p>各町内の街灯のLED化につきましては、市の負担額を5割から7割に引き上げて助成を行っております。</p>	<p>都市整備課</p>

23	道道の日東交差点から500メートルあたりに一部歩道がない部分がある、歩行者に危険が及ぶ可能性があるため、歩道を設置して欲しい。	管理している北海道へも確認しましたが、道路整備を行う際に、用地処理が行えなかったようであり、歩道が未整備の状況となったようであります。	都市整備課
24	遊縁通り公園の北海幹線かんがい溝のフタは、地震が起きたとき大丈夫なのか。	美唄市街地における北海幹線用水路は公園化を目的とし暗渠化された地下構造物であり、平成3年～平成13年にかけて改修が行われております。 北海幹線用水路は農林水産省の基準により設計・施工されていますが、施工当時は耐震設計を行うこととなっておらず、施設の耐久性が震度階のどこにあたるのかは明確にできるものではありません。 また、本施設は災害時には取水を止め、水路から緊急的に水を抜く施設を有しておりますので、大きな地震が起きた際には適切な対処が可能なものとなっております。	危機管理対策室

⑤ 環境・衛生関係

No.	意見・要望	回答	担当課
25	合同墓（合葬墓）について、以前に調査を行っていたが、続報が伝わってこない、現在どこまで進んでいるのか。	本年は岩見沢市、深川市、士別市、砂川市の設置状況を現地確認したところであり、今後におきましても財政状況や既存事業の検証を踏まえ、設置場所や規模などを勘案するなど、総合的に判断して方向性を見出してまいりたいと考えております。	生活環境課
26	町内のゴミ拾いなどで、特にタバコの投棄が目立つ。 また、道道砂川奈井江美唄線の茶志内付近のゴミ投棄もひどいことから、道路などにゴミを捨てないよう注意喚起をしていただきたい。	市の清掃指導員や業務委託において、主要道路をはじめとした道路の巡回・清掃を行っているところであり、不法投棄が多い箇所は注意看板を設置し、悪質な場合には警察に通報し捜査を依頼しております。今後におきましても巡回・清掃を継続するとともに、適切なおみの分別や排出方法、不法投棄について、広報紙やホームページにおいて注意喚起を行ってまいります。	生活環境課
27	野生動物の問題もあるため、空き地の草刈りなどの管理について、所有者に市からも呼び掛けてもらいたい。	過年度に草刈りを依頼した箇所や新たに依頼があった箇所につきましては、例年6月頃に現地調査を行い、草刈りが行われていない空き地については、可能な限り土地所有者を特定し、草刈りの実施を依頼しております。	生活環境課

28	<p>地域としてマガンの農業被害があるが、宮島沼にはそれを補って余りある経済効果があるのか。</p>	<p>平成28年度から専門家や国・道、農業関係機関も含めて「宮島沼の水環境の保全と再生に関する検討会議」を設置し、宮島沼の保全と地域の課題の解決に向けた取り組みを検討するため、その指針となるマスタープランを作成いたしました。この中では、マガンの採食地管理や湿地との共生に寄与する地域農業の取り組みとして「広域的なマガンの採食地管理方法」、「地域に自生した有用植物の産業化」、「それら農産物の付加価値化と6次産業化の推進」などを検討することを提案しており、今後はこうした取り組みの実施を検討していくこととしております。</p> <p>地域農業はラムサール条約に登録された国際的に重要な自然を支える特別な価値を持っていることから、その価値を活かした取り組みを進めて参りたいと考えております。</p>	生活環境課
----	--	---	-------

⑥ 市民生活関係

No.	意見・要望	回答	担当課
29	<p>バスの運行について、現在実施している実証運行は、無駄な循環が多いのではないかとと思うがどのように考えているのか。</p>	<p>南美唄線、市民バス東線ともに、利用者からも同様の意見があることを認識しており、本格運行の路線を決定するまでに精査する必要があると考えております。</p>	生活環境課
30	<p>日東地区には空知工業団地があるが、通勤をするにも公共の交通機関がなく不便である。公共の交通機関を運行する考えはないのか。</p>	<p>空知団地につきましては、現在、中央バスが運行をしているため、市民バス等の運行は考えていないところです。</p>	生活環境課
31	<p>約10年前に日東の市道と道道の交差点に信号機の設置要望をしているがどうなっているのか。近年交通量が増えてきているのでぜひ設置していただきたい。</p>	<p>信号機の設置につきましては、北海道公安委員会で設置の基準に基づき判断しておりますが、10年前と交通量が変わっているとのことでありますので、再び、地域からの要望書を提出いただくことにより、担当課から美唄警察署を経由し、北海道公安委員会へ要望書を提出させていただきます。</p>	生活環境課

⑦ 農業関係

No.	意見・要望	回答	担当課
32	台風や地震によって生じた農業被害について現状把握はしているのか。 また、被害に対する補助に係る申請の際の日程が短すぎると思うが改善はできないのか。 更には、市独自の支援は考えていないのか。	農業被害につきましては、市において現状把握しております。 補助申請の日程につきましては、国や道の指示する日程に従い事務を進めなければならないため短い期間となってしまいますが、ご理解をお願いいたします。 なお、農業用ハウス限定ではありますが、2週間延長して要望調査を行ったところであります。 今回の被災農業者向け経営体育成支援事業（平成30年北海道胆振東部地震・台風第21号）には、市の上乗せ支援を検討中であり、さらに市独自の支援として、農業被害（農作物の収量減）で生じた、営農収入の不足に対して、農協が貸し付ける資金に対し利子を助成する「農業経営資金利子助成事業」を検討しております。	農政課
33	近年、多い雨量に、市のポンプで対応出来なくなってきた。その対策についてどのように考えているのか。	排水ポンプにつきましては、内水の増水に備えて農村地域に9カ所17台の配置をしております。地域によっては、降雨の状況により設置済みの排水ポンプでは不足する場合がありますので、国へ排水ポンプの配備を依頼したり、市が業者からリースして対応しており、今後も同様に対応してまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	危機管理対策室
34	茶志内排水路については、調査の結果、現状では問題なしとの事であったが、実際には対応できていないことから、床さらい等の整備を行って欲しい。	排水路につきましては、より機能を発揮、維持する上で床さらいも有効な方法と考えておりますが、排水路整備に係る要望が多いことから、早急な対応は難しい状況にあります。日常的には降雨時のパトロールを強化し、状況を把握しながら、整備に向けた検討を行ってまいりたいと考えております。	農林整備課

⑧ 福祉関係

No.	意見・要望	回答	担当課
35	地域に車椅子の人がいる。生活館に、トイレに手すりなど、付けることができないのか。危険回避の為や生活館に来てもらう方を増やす為に市として考えて貰えないか。	共練、進徳、東明及び落合の旧生活館は、平成20年度末をもって用途廃止し、以降は地域の集会施設として市が委託料をお支払いしてご利用いただいておりますが、原則として現況のまま利用していただくことを条件としておりますので、管理者において対応をお願いいたします。	契約管財課

36	地域福祉会館とその付随施設の耐震性について不安があるが、耐震性については問題はないのか。	市内15ヶ所の地域福祉会館の耐震性につきましては、全館耐震調査は実施していないものの、昭和56年以降に建設した13か所の福祉会館については、耐震性の確保を含む建築基準法改正後に建設をした建物であります。耐震性は確保されていると思われませんが、調査未実施により詳細は把握しておりません。	地域福祉課
37	地域福祉会館の運営について、財政的に年々厳しくなっているが、何か支援策は考えていないのか。	各館とも、葬儀や法事等の利用が著しく減少し、運営状況はかなり厳しいものとなっておりますが、老人クラブの集まりやカラオケ、町内会等の会合等各館において創意工夫し、運営維持に努めていただいております。今後、市としても幅広い利活用と安定的な利用者の確保等の仕組みづくりについて、検討していきたいと考えております。	地域福祉課

⑨ 教育関係

No.	意見・要望	回答	担当課
38	茶志内小学校の閉校も決まったが、学校跡地の問題はどうか。民間売却も聞こえてきているが、解体費、維持費はどうするのか。	他の公共施設としての活用を検討し、活用がない場合は民間への売却へ向け、事務を進めてまいります。	総合政策課
39	中央小学校の体育館が雨漏りしていると聞いたが現状はどうなっているのか。	平成31年度以降に中央小学校の大規模改修工事を予定しており、体育館の屋根の吹き替えについても検討してまいります。	学務課
40	スクールバスについても経路上にバス待合所を設置するべきだと思うがどのように考えているのか。	スクールバスの運行につきましては、現在の路線では児童生徒の自宅近くでの乗降を行っておりますので、待合所の設置は考えておりません。	学務課

⑩ 市民サービス関係

No.	意見・要望	回答	担当課
41	教育委員会にスキーチケットの件で訪ねたが窓口にも誰も居なく、来客に対する対応と雰囲気などが悪く気分を害した。また、市役所全般に職員の対応が悪いと思うがどのような考えで市民対応しているのか。	職員の接遇につきましては、親切丁寧な対応に努めるよう指導しているところですが、今後、更に研修などを通じ、接遇の向上に努めてまいります。	総務課

⑪ その他

No.	意見・要望	回答	担当課
42	市外で働いていても美唄に住んでいただけるよう、駅前の無料駐車場を広くし、通いやすい環境整備も必要だと思うがそのような考えはないのか。	現在、JR美唄駅の東側、西側において、多くの駐車スペースを確保しており、空きもあることから、現時点では、広げる予定はありません。	都市整備課
43	会社勤めの人、市の職員（市外在住）が美唄市内に住むための方策や現在美唄に住んでいる人が流出しない為にはどうしたら良いのか考えはあるのか。 また、美唄からどのくらいの人が市外に働きに行っているのか、またどの位、市外から働きに来ているのか把握しているのか。	市内外の皆様から「住んで良かった」と思える魅力あるまちづくりが必要であり、子育て支援や地域医療などの充実に向け、様々な施策に取り組み、移住・定住に努めております。 また、市外から市内に働きに来ている方につきましては把握しておりますが、市外で働いている方につきましては把握していないところであります。	総合政策課
44	市外の人たちの方がアルテピアッツァ美唄の良さを理解してくれていることから、美唄という名前ではなく、セカンドネームをつくってはどうか。	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は、市外からの来館者が多い施設であり、市外の方々に美唄市の認知度を高めるためにも現状の名称が適切と考えております。	生涯学習課
45	北海道の歴史資源として登録されている炭鉱メモリアル公園の竪坑槽の中央部分に巨大な彫刻があるが、直接、何の関係があるのか、よく意味が分からない、どのような経緯で設置されたのか教えて欲しい。	今年の6月に、安田氏より炭鉱メモリアル森林公園に3基の彫刻作品を置きたいと都市整備部と教育委員会に依頼があり、内容確認の上、設置を許可いたしました。 安田氏は、香川県直島の鉱山跡と芸術作品の相乗効果などから発案し、本市にも全国に紹介できる炭鉱遺産があるため、美術館まで既に来ている人をきっかけに、もっとたくさんの人に知ってほしいという思いがあったそうです。 市としましては、本市の産業遺産と美術館の相乗効果が図られるものと考えました。	生涯学習課
46	まちづくりを考える上で市内全体を含めて考える必要があると思うが、市内にある公共施設の今後の計画はどのようになっているのか教えて欲しい。	人口動向や財政状況、公共施設の現状を踏まえ、2017年3月に策定された「美唄市公共施設等総合管理計画」に基づき、2046年までの30年間で統合や複合化を行い、総延床面積の30%削減を目標としております。なお、具体的な取り組みにつきましては、今後、各施設の実施計画で進めてまいります。	総合政策課
47	高齢者に対する予算を削ってでも、子供が様々な活動が出来るよう子育て支援に予算を割くべきだと思うが、どのように考えているのか。	新たな取り組みといたしましては、市立美唄病院内に病児保育室を開設、第2子以降で3歳未満の子どもの保育料補助、特定不妊治療費助成等の事業を実施いたしました。	こども未来課

48	トマーレ美唄の位置づけはどのようになっているのか。 直接市が運営するのは条例的におかしいと思うので、市民に分かりやすく説明していただきたい。	「多目的宿泊施設トマーレびばい」は、市の条例である「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」で定め、市が所有する財産として、利用される方に貸しております。	総合政策課
49	街が栄えるためには、子どもが必要だと考えるが、本市の子ども数の推移についてどのように考えているのか。 病院建設よりも教育の方に力を入れるべきであると思うがどのように考えているのか。	出生率は年々減少傾向にあり、安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進や、保育環境の充実を図っていく必要があると考えております。 また、これら子どもたちが激動する社会の中で力強く生き抜くためには、子ども子育て支援関連事業と教育環境の充実に向けた事業とが連携して取り組んでいく仕組みづくりを横断的に構築していくことが重要であると考えております。	こども未来課 学務課
50	子育て支援、若い男女の雇用の場を確保するべきと考えるがどのように考えているのか。	子育て支援に対する期待は大きく、今後も結婚から出産、子育てといったライフサイクルに沿った支援や取り組みを行っていく必要があると考えております。（こども未来課） 10月末の美唄市内の有効求人倍率は1.37倍となっており、特に建設業や製造業で労働者不足が深刻となっております。また、高校新卒者の就職活動も順調で、11月末現在でほとんどの就職希望者が内定を受けていると聞いております。 その背景には企業側も労働者不足解消のため高校新卒者の採用を積極的に行っているということがあり、学校への求人も年々増えている状況です。若い世代には地元企業を知ってもらうことが重要と考えており、今年度市内企業のPR冊子を作成したところです。（経済振興課）	こども未来課 経済振興課
51	生活しやすいまちづくりが必要。 病院や環境、出産や子育てなどが今後必要ではないかと思うが、どのように考えているのか。	病院や環境、出産、子育てなど、いずれも重要な課題の一つと受けて止めており、これらの環境が向上するよう、様々な施策に取り組んでまいります。	総合政策課
52	現在、6丁目会館を町内で運営しているが、雪害などで使えなくなったことから解体することになり、市に相談したところ、資金は出せないがゴミがでて捨てる際の減免ができることのであった。 町内会で運営している会館等の解体経費の補助について、これまでのルールでは対応が難しいのであれば、ルールを変えることができないのか。 市の会館と独自の会館とでは、対応に差がありすぎるのではないかと思うが、市の考え方について教えていただきたい。	町内会館の維持につきましては、他でも多くの要望が寄せられております。高齢化で役員のみ手がないなど、町内会の崩壊は日本の社会現象でもあると認識しております。地域コミュニティの最小単位が町内会だと考えており、その活動の拠点が町内会館であることから、課題解決に向け国へ働きかけを行ってまいります。 また、今すぐ対応はできませんが、市といたしましても制度の見直しなど検討していきたいと考えております。	秘書広報課

53	炭鉱遺産についてドイツのルール地方に行った市長だが、それにより、炭鉱遺産が、どの様になっていき、どう活かそうとしているのか、考えを教えてください。	炭鉱遺産を効果的に活用し、地域の観光及び教育振興をはじめとした地域活性化に生かしてまいります。	総合政策課
54	アルテピアッツァ美唄と東明公園を軸にした観光名所作りはできないのか。 一方で、芸術広場だから商売はしない、という考え方があるようだが、そんな事を言っている場合ではないと思うが、アルテピアッツァ美唄には、現在までどの位の予算をかけているのか。 また今年の予算はどのようになっているのか。	空知随一の桜の名所として親しまれている「東明公園」、四季折々の景色が美しい「安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄」とも、本市の重要な観光名所として知られており、これらを軸に、炭鉱遺産や宮島沼、または焼き鳥屋などの市内飲食店にも足を運んでいただけるようPRしているところであります。（観光振興課） 美術館への来館をきっかけとして、市内で消費行動を起こしていただくことで、市を活性化していくという考えから、入館料を徴収しておりません。 なお、平成4年度のオープンから平成29年度まで、施設整備や維持運営の委託などを含め、25年間で約10億6千万円かかっています。 また、平成30年度の予算は、約2,433万円です。（生涯学習課）	観光振興課 生涯学習課
55	管内の火力発電の存続に向けて要請すべきだ。地場に豊富な石炭があり、地場産業の振興に繋がり、大事ではないか。	奈井江火力発電所は、美唄市民も多く働いており、また関連業務を請け負っている市内企業もあることから、奈井江火力発電所の休止は地域経済にとって大きな影響があるものと考えております。市といたしましては、空知炭鉱市町活性化推進協議会を通じ状況把握を行っているところであり、北海道電力から当面一定量の採掘量を確保するほか、地域経済への影響にも配慮する旨の前向きな説明があったことから当面要請活動は行わないこととしております。	経済振興課
56	全国に安田作品があるが、安田侃先生は美唄市出身で、美唄市には「アルテピアッツァ美唄」があるということがわかるようにしてはどうか。	美唄市をPRする様々な場面において、安田侃彫刻美術館をお知らせしています。今年の11月には、5日間の期間で札幌市の地下歩行空間にてPR活動を行い、約600人に対話にて紹介し、約5万人にパネル掲示などで紹介いたしました。 その他、全道全国の主だった美術館に定期的にリーフレットを送り、啓発を依頼しております。	生涯学習課